

令和3年6月4日（金）

会員各位

日本応用経済学会事務局

日本応用経済学会春季大会案内

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2021年日本応用経済学会春季大会（6月26日（土）、27日（日））は、今般の新型コロナウイルスによる感染症拡大の影響に鑑み、オンラインでの開催となりました。開催予定校の同志社大学と内藤徹先生を始め、多くの先生方にご尽力をいただきましたこと感謝申し上げます。昨年度に引き続き、会員の皆様との対面による学術交流、情報交換が叶わなかったことは大変残念ではございますが、皆さまのご協力により開催できますことに大変感謝しております。

つきましては、春季大会を以下の要領にて開催いたします。ご多忙中のこととは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。なお、次頁以降に大会の注意事項等を記載しております。

1. 2021年度春季大会開催要領

1.1 受付について

受付はございません。大会前日（6月25日（金））夕方以降に各報告のミーティングルーム情報を記載したプログラムをメールで配信し、また学会ウェブサイトに掲載いたしますので、大会当日にその情報から参加下さい。

1.2 大会参加費について

大会参加料の徴収はございません。

1.3 参加の場所について

ご自宅、研究室等のオンライン会議を実施できる環境の場所にてご参加下さい。

1.4 大会の参加方法、および、セッション報告の時間について

- (1) Zoomによるオンライン会議で実施いたします。報告者はミーティングルームのホストになって頂きますので、Zoom（無料版、または有料版）のサインアップ（利用者登録）が必要です。報告者は必ず6月16日（水）までにサインアップ下さい。すでに無料版の利用登録されている方や有料版をご契約の方は、あらためてサインアップの必要はございません。

討論者、座長、司会、招待講演者をはじめ、参加される皆様のうちZoomを初めて

利用される場合は、あらかじめ、Zoom アプリをダウンロード下さい。既に利用の方も、事前に最新のバージョンへのアップデートをお願いします。

一般セッションの討論者と座長、招待講演者、特別セッション講演者、そして一般会員の皆様は、学会事務局から送られる Zoom 会議室の URL 一覧からご参加下さい。大会前日（6 月 25 日（金））の夕方以降に学会 website に大会専用ページ（パスワード認証有）にも各報告の URL を掲載します。なお、以下についてご注意ください。

- ① Zoom のミーティングクライアントをインストールしている場合、Zoom アカウントは必要ありません（ミーティングクライアントは <https://zoom.us/> からダウンロードできます。）。
- ② ミーティングクライアントをインストールせずにブラウザでアクセスする場合、Zoom アカウントが必要です。

(2) 報告時間について

- 一般報告セッション（討論者有）は、報告時間は 25 分、討論者による予定討論、それに対するリプライ 10 分で、フロアからの質疑応答 5 分の合計 40 分です。
 - 討論者の設定が無いセッションは、報告時間は 35 分、質疑応答 5 分の合計 40 分です。
 - 無料版 Zoom の利用を前提にしておりますので、40 分で 1 報告の全体が終了となります。
- (3) 報告者が無料版を利用している場合、3 人目が会議室に入室してから 40 分経過した時点で会議終了となります。その場合、討論等の途中であっても報告終了となります。
- (4) 開始時間後に入室された場合に、開始されていない場合はキャンセルの可能性あります。キャンセル等の情報は、事務局確認後、ML にて配信いたしますので、メールをご確認ください。

1.5 セッション報告者の皆様へ

- (1) 事務局より連絡差し上げておりますが、報告論文を座長、討論者、事務局にメールにてお送り下さい。
- (2) セッション報告では、**報告者に会議室のホストになって頂きます**。ホストとして、会議室を設定頂き、設定後、6 月 23 日（水）15 時まで座長、討論者、事務局に招待メールをお送り下さい。なお、会議室の設定、Zoom の簡易マニュアルなどは、6 月 10 日（木）にお送りいたします。
- (3) 当日のプレゼン資料は pdf ファイル化し、6 月 18 日（金）までに学会事務局までメールにて送付下さい。その後、順次、学会 HP に掲載いたします。もし、6 月 18 日（金）を過ぎた場合、原則として、当日の報告時間にご自身で Zoom の chat 機能を用いて配布をお願いします。なお、6 月 18 日（金）を過ぎたときでも事務局に送付下さい。作

業可能な限り学会 HP に掲載いたします。

なお、当日のプレゼン資料のファイル名は必ず次の例に従って付けてください。

例) セッション 1-1A の第一報告 報告者氏名が応用 太郎 の場合

1-1a_1_ouyou.pdf

- (4) 報告当日の報告時間は 25 分、討論者による予定討論、それに対するリプライは 10 分、フロアからの質疑応答 5 分の合計 40 分です。会場からの質疑等は報告時間中に Zoom の chat 機能で受け付けます。会場からの質疑に対するリプライは、報告終了後、報告者から個別にお願いいたします。連絡先が無い方へのリプライは必要ございません。
- (5) 当日の流れの詳細は後日、ご連絡差し上げます。

1.6 討論者の皆様へ

- (1) 6 月 23 日 (水) 15 時までに報告当日の報告の会議室の招待状が報告者から送られてきます。
- (2) 討論用ファイルを事前に事務局に送付する必要はございません。
- (3) 報告開始時刻前までに当該報告の会議室に入室下さい。入室後、マイクはミュート、座長、報告者が入室されていることを確認しやすくするため、ビデオはオンでお願いします。
- (4) スムーズな進行のため、討論用の資料 (PPT など) を準備頂いている場合は、PC の画面上に開いておいてから、セッション報告の Zoom 会議室に入室下さい。
- (5) 討論時間は、報告者のリプライを含めて 10 分ですので、コメント等は 5 分以内でお願いいたします。論文概要は簡略化下さい。
- (6) 報告者の報告が終わりましたら、速やかに討論を開始下さい。報告者の画面共有が終わりましたら、討論用のファイルを共有機能で表示下さい。
- (7) 当日の流れの詳細は、後日、連絡いたします。

1.7 座長の皆様へ

- (1) 6 月 23 日 (水) 15 時までに当日の報告の会議室情報が報告者から送られてきます。
- (2) 報告開始時刻前までに当該報告の会議室に入室下さい。入室後、マイクはオン、報告者が座長の入室を確認しやすくするため、ビデオはオンでお願いします。
- (3) 報告開始時刻になりましたら、報告開始の宣言と諸注意をお願いいたします。諸注意後、報告者に報告を促すようお願いいたします。その後、マイクをミュートにしてください。
- (4) 報告者の討論者へのリプライが終わりましたら、マイクをオンにして、報告終了を宣言下さい。
- (5) 当日の流れの詳細は、後日、案内いたします。

1.8 招待講演、会長講演、学会賞授与式、学会賞受賞講演関係者の皆様へ

- (1) 6月23日(水)15時までに当日の会議室情報を事務局よりお送りいたします。
- (2) 詳細については、後日、個別にご案内いたします。

2. 2021年度春季大会 プログラムの時間配分

オンラインで利用する Zoom に関する注意事項は、後日、会員の皆様宛に送付いたします。

2.1 セッション報告(討論者有)

- (1) 報告者、討論者、座長の三者に加えて、学会員が参加できます。但し、報告者、討論者、座長を含め、100名までです。
- (2) 報告時間は、報告25分、討論・リプライ10分、フロアからの質疑応答5分とします(Zoom(無料版)の制約上、1つのセッションは40分が上限です)。
- (3) 進行等の詳細は、後日、案内いたします。

2.2 セッション報告(討論者なし)

- (1) 報告者、討論者、座長の三者に加えて、学会員が参加できます。但し、報告者、討論者、座長を含め、100名までです。
- (2) 報告時間は、報告30分、討論5分、バッファー5分とします(Zoom(無料版)の制約上、1つのセッションは40分が上限です)。
- (3) 進行等の詳細は、後日、案内いたします。

2.3 招待講演、会長講演、学会賞受賞講演

- (1) 学会員であればどなたでも参加できます。
- (2) 講演時間(講演、報告者の紹介、質疑応答を含む)は50分です。
- (3) 進行等の詳細は、後日、案内いたします。

2.4 学会賞授与式

- (1) 学会員であればどなたでも参加できます。

3. 不足の事態、不具合などへの対応

緊急事態が発生した場合の対処(Zoomの交信不具合で事実上参加が困難となった場合、外部からの侵入など)

- (1) 座長、討論者がともに欠席の場合、報告者が進行役を務め、報告を行い、終了後、その旨を事務局あてにメールで報告してください。
- (2) 報告者が欠席(通信不具合によるものも含む)の場合は、報告キャンセルとして取

り扱います。座長がその旨を事務局あてにメールにて報告下さい。その後、事務局よりメールにてキャンセル情報を送信します。

(3) その他、突発的な事項が発生した場合には、ホストである報告者が座長と中止を含め協議して対応下さい。その後、座長から事務局にその旨の報告をお願いします。

(4) 当日の接続・音声などのトラブルは報告者（ホスト）の対応となります。

4. その他

4.1 Zoomに関する注意事項（Zoomの簡単な操作マニュアル、Zoomの画面共有のデフォルトの変え方などの操作、注意書き、回線、音声切断などの状態になった時への対応、などを含む）は、6月17日（木）ごろまでには会員の皆様にお送りいたします。また、学会HPに掲載いたします。

4.2 5月31日時点での情報で作成しております。運営内容が変更されることはございませんが、仔細な点の変更がある場合は、改訂版にてお知らせいたします。

4.3 講演資料等は当日配布（場合によっては配布無し）の場合もございます。ご了承下さい。

4.4 その他、お気づきの点、不明な点などがございましたら、事務局にメールにてご連絡下さい。（jaae@jaae.org）

2021年度日本応用経済学会春季大会プログラム

< 討論者有の場合: 報告時間25分、討論10分、フロアからの質疑5分 >
 < 討論者無の場合: 報告時間35分、討論はフロアからの質疑を含めて5分 >

2021/6/14 時点

第1日 6月26日(土)

10:30	理事会			
	Session 1-1	Session 1-2A	セッション 1-3A	セッション 1-4A
セッション名	English Session I	English Session III	企業行動と競争のゲーム理論分析	社会保障
	Chair Misato Sato(Okayama University)	Chair Taro Takimoto(Kyusyu University)	座長 堀 宣昭(九州大学)	座長 内藤 徹(同志社大学)
第1報告 13:00~13:40	Is the Urban Knowledge Spillover More Effective on Industrial Agglomeration than Rural Areas? Presenter Youngjin Woo (The Seoul Institute) Discussant Suminori Tokunaga(Reitaku University)	Monetary Policy Rule and Taylor Principle in Emerging Southeast Asia: GMM and DSGE Approaches Presenter Mesa Wanasilp(Saitama University) Hiroyuki Taguchi(Saitama University) Discussant Taro Takimoto(Kyusyu University)	Incumbent Repositioning in a Vertically Differentiated Market 報告者 平尾盛史(長崎県立大学) 討論者 松井建二(神戸大学)	介護保険政策と出生率 報告者 焼田 党(南山大学) 討論者 安岡匡也(関西学院大学)
第2報告 13:50~14:30	Does the Improvement of Institutional Quality Promote Outward Foreign Direct Investment Flows? Presenter Jaehyun Suh (Keimyung University) Discussant Junmin Wan(Fukuoka University)	The Power of Role Models: Gender Role Attitudes and Female Labor Participation in Japan Presenter Wen LI(Kyushu University) Discussant Sayaka Sakoda(Kyoto University)	Full Collusion with Entry and Incomplete Information 報告者 関口 裕(京都大学) Ramakanta PATRA(Cardiff Metropolitan University) 討論者 川上敏和(同志社大学)	Childcare support, Public capital and Growth 報告者 三宅 裕介(日本文理大学) 討論者 菅原晃樹(名古屋学院大学)
	Session 1-1	セッション 1-2B	セッション 1-3B	セッション1-4B
セッション名	English Session II	シミュレーションによる政策分析～シミュレーションソフトの実用例	企業分析	マクロ経済学I
	座長 Misato Sato(Okayama University)	座長 神野真敏(南山大学)	座長 北村紘(京都産業大学)	座長 大森達也(中京大学)
第3報告 14:40~15:20	Home-field advantage in the use of accounts payable Presenter Hocheol Nam(Hokusei Gakuen University) Discussant Shim Jungwook(Kyoto Sangyo University)	出生率内生化モデルにおける政策分析 報告者 安岡匡也(関西学院大学) 討論者の設定なし	Competition between physical and electronic content retailers 報告者 猿田冬樹(大阪大学) 橘高勇太(神戸大学) 松島法明(大阪大学) 討論者 水野倫理(神戸大学)	Transmission of Housing Bubbles among Industrial Sectors 報告者 万軍民(福岡大学) 討論者 内田秀昭(三重大学)
第4報告 15:30~16:10		The economic benefits of immigration to natives -Considering the effects of immigrants through school system- 報告者 神野真敏(南山大学) 安岡匡也(関西学院大学) 討論者の設定なし	社外取締役は、どのように取り締まることができるのか? 報告者 花村信也(立命館大学) 討論者 野崎竜太郎(久留米大学)	技術的変化、税と失業 報告者 周峰(兵庫県立大学) 討論者 伊ヶ崎大理(日本女子大学)
16:20~17:10	招待講演		司会: 内藤徹(同志社大学)	
	演題: 持続可能な地方財政に向けたガバナンス制度 講演者: 赤井 伸郎(大阪大学)			

第2日 6月27日(日)

セッション名	セッション2-1A English Session IV	セッション2-2A 公共選択	セッション2-3A 公的部門のマクロ経済分析	セッション2-4A 金融
	Chair Hiroshi Moriyasu(Nagasaki University)	座長 浦川邦夫(九州大学)	座長 田中淳平(北九州市立大学)	座長 飯島裕胤(弘前大学)
第1報告 9:00~9:40	Temporal changes in factor adjustment of the Japanese manufacturing industry	An Economic Analysis of Scholarship Programs in Higher Education	Public Investment, National Debt, and Economic Growth: The Role of Debt Finance under Dynamic Inefficiency	エネルギー投資の経済性評価に応用される金融工学モデル
	Presenter Sangho Kim(Ritsumeikan Asia Pacific University)	報告者 大倉真人(同志社女子大学) 藤井陽一朗(明治大学)	報告者 上口 晃(近畿大学) 玉井寿樹(名古屋大学)	報告者 飯坂彰啓(デリバティブリサーチ株式会社) 渡邊 崇(同志社大学研究開発推進機構) 筒井 潔(アジアパンフィックコーポレーション株式会社) 佐々木一彰(株式会社ノースウッド)
	Discussant Takeshi Kudo(Nagasaki University)	討論者 尾崎祐介(早稲田大学)	討論者 篠崎 剛(東北学院大学)	討論者 藤田康範(慶應義塾大学)
第2報告 9:50~10:30	Strategic interaction among Japanese municipalities on local employee wage	Coevolution of Religious Legitimacy and the Culture of Secularism: Consequence of Religious Radicalization		2014年税制改正が、個人投資家の投資意識・行動に与えた影響~マイクロデータによる株式投資に関する実証分析~
	Presenter Nguyen Tuan Dung(Kyushu University) Takeshi Miyazaki(Kyushu University)	報告者 堀 宣昭(九州大学)		報告者 大野裕之(東洋大学)
	Discussant Hiroki Tanaka(Doshisha University)	討論者 佐藤茂春(中京大学)		討論者 山田直夫(日本証券経済研究所)
10:40~11:10	学会賞授与式			
11:20~12:10	学会賞受賞講演 演題：第3種価格差別研究の過去・現在・未来 講演者：安達 貴教(京都大学)		司会： 長岡貞男(東京経済大学)	
13:10~14:00	招待講演 演題：金融市場の不完全性のマクロ経済学的含意 講演者：柴田章久(京都大学)		司会： 坂上智哉(熊本学園大学)	
	セッション2-1B English Session V	セッション2-2B 経済政策	セッション2-3B 資本・人的資本の分析とマクロ経済	
	Chair Takuya Nakaizumi(Kanto Gakuin University)	座長 秋山 優(九州産業大学)	座長 焼田党(南山大学)	
第1報告 14:10~14:50	Participation in Global Value Chains and Logistics Performance in Emerging ASEAN Economies: Structural Gravity Model Analysis and Case Study of Myanmar	中国における新退耕還林政策の展開と課題	Online Education and the Great Convergence	
	Presenter Thet Mon Soe(Saitama University) Hiroyuki Taguchi(Saitama University)	報告者 金承華(関東学園大学) 藪田雅弘(中央大学)	報告者 和田柁平(同志社大学)	
	Discussant Tsuyoshi Nakamura (Tokyo Keizai University)	討論者 井田貴志(熊本県立大学)	討論者 安岡匡也(関西学院大学)	
第2報告 15:00~15:40	Agency problems in a competitive conglomerate with production constraints	感染症対策の経済性	社会会計からのマクロ経済学の再構築	
	Presenter Herrera Velasquez Jose de Jesus(Kyoto University)	報告者 永星浩一(福岡大学)	報告者 桜内文城(桜内文城事務所) 藤田康範(慶應義塾大学) 筒井 潔(アジアパンフィックコーポレーション株式会社) 加納侑直(株式会社プロメテ)	
	Discussant Takuya Nakaizumi(Kanto Gakuin University)	討論者 福澤勝彦(長崎大学)	討論者 小塚 匡文(摂南大学)	